

加茂健康づくりウオークの記

10月1日（土） 万富吉井川沿いコース

「男心と秋の空」の喩は当たってないと思うが、このところ秋雨前線の影響で天気が安定せず行事実施には不都合で困る。しかし、今朝起きてみると幸いにも曇り空ながら雨は降ってない。予報では、前線の活動が弱まり昼前には雨はやむとのこと。でも用心に雨具の用意はして家を出る。

◇7:30、25名のものが高松駅に集合。準備体操をして、8:00 発の電車に乗り山陽本線万富駅に下車して、ボランティアガイドのお二人に迎えらる。挨拶の後、最初の訪問地阿保田（あぼた）神社に参詣。



◇神社を後に田原用水沿いに東大寺瓦窯跡に向かう。想像図看板のところで説明を受け、用水沿いの道を東進して向山の麓にある熊野樋門に着き用水路開削について聞く。そこから県道 96 号を横切つて吉井川土手の県道に出て向山を望み、かつてあった山上の大本教の事など聞く。



◇吉井川の鉄橋が川の土手内からカーブを描いて架けられているのを見る。この地では曲がった鉄橋と呼ばれている。土手から田んぼ中の道を行くと番神社があり、境内には樹齢を重ねた椋木の大本が立つのに驚く。万富公民館長の紹介の昼食場所二日市公会堂に着く。



◇公会堂内での食事を終え、再び吉井川堤防に出て、曲がった鉄橋を振り返り、**土手上の県道**を南下する。旧唐戸樋門の近くにある**アユモドキの里**の看板を見ながら説明を受ける。河原に造成した三面の養魚池には、三億五千万かかったという。



◇樋門のところを鉤の手に折れ、**瓜生川**沿いに**キリンビール工場**を目指す。工場内に入り世界最高・最新の高速レベルの諸設備を見学の後、構内の芝生地で**記念写真**を撮る。工場見学を最後に万富駅に帰り、14:13の**電車の入構**を迎え、15:13高松駅に帰着。歩数、13,200余歩。



気になっていた天候も好転して、秋雨前線の僅かな洗礼を受けながら、最高気温が 26℃の凌ぎ良いウォーキングになった。中でもボランティアガイドの加納さんをはじめ、二日市のご婦人の手厚い接待には心温まるものにつまされ、万富地域の人々の心情の気高さには頭が下がった。「万富」という言葉が縁起良らしく全国から慕われているのですよとの説明もあったが、地域の人たちのそれに応えるように励んでおられる美しい姿を直に感じさせられた。思えば「心の健康」にもなった今回のウォークであった。